

導入

【教科書】

▼湯浅邦弘主編『概説 中国思想史』(ミネルヴァ書房、二〇一〇年)

本講義では、本書の第I部「中国思想の歴史」を中心に取り上げる。

(参考文献)

・湯浅邦弘編著『名言で読み解く中国の思想家』(ミネルヴァ書房、二〇一二年)

・湯浅邦弘編著『テーマで読み解く中国の文化』(ミネルヴァ書房、二〇一六年)

・湯浅邦弘編著『教養としての中国古典』(ミネルヴァ書房、二〇一八年)

【成績評価の方法】

試験(60%)、授業への参加度合い(40%)

【授業内容】

▼春秋戦国時代～秦代

・春秋戦国時代：思想家の誕生と「諸子百家」の黄金期。

〔1〕 諸子 〔1〕 — もろもろの先生。

〔2〕 百家 〔1〕 — 数え切れないほどの多くの思想家。

①₃ 儒家 ……孔子・孟子・荀子 ②₄ 墨家 ……墨子

③₅ 道家 ……老子・荘子 ④₆ 陰陽家 ……鄒衍

⑤₇ 名家 ……恵施・公孫龍子 ⑥₈ 兵家 ……孫子・呉子

⑦₉ 法家 ……韓非子

そのほか、縦横家・雑家・農家・小説家など

・秦代：〔10〕 始皇帝 〔1〕 の天下統一、焚書・思想統制。

▼漢代

・前漢

〔11〕 儒教 〔1〕 が国家教学として尊重されていく。

〔12〕 経書 〔1〕 の確立。それを対象とした学問を

〔13〕 経学 〔1〕 と言う。

武帝の時代：〔14〕 董仲舒・司馬遷 〔1〕 らの登場。

・後漢

儒教の権威が確立。〔15〕 今古文論争 〔1〕 と経学の総合化。

▼魏晋南北朝～隋唐

〔16〕 儒教・仏教・道教 〔1〕 三教の鼎立。

※漢代～唐代：〔17〕 訓詁学 〔1〕 (字句の意味の解釈に重点を置く)

▼宋代

・北宋：〔18〕 北宋五子 〔1〕 による儒教の復興。

・南宋：朱熹—〔19〕 朱子学 〔1〕 陸九淵—〔20〕 陸学(心学) 〔1〕

▼元代：朱子学の継承、朱子学・陸学の折衷。

▼明代：王守仁(王陽明) —〔21〕 陽明学 〔1〕

※宋～明代：〔22〕 義理学Ⅱ理学Ⅱ性理学 〔1〕 (宇宙の本体や人間の本質という哲学的問題に解答)

▼清代

〔23〕 清朝考証学 〔1〕 の隆盛。漢代の注釈を復原。

▼近現代

西洋列強の衝撃。〔24〕 洋務運動 〔1〕、変法の思想の展開。

中国知識人の活動とマルクス主義の受容。